

【報告】新しい教育課程（40分授業・教科担任制）説明会について

3月9日に開催いたしました「新しい教育課程説明会」には、多くの皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。

本校では、令和8年（2026年）4月より、児童の学びをさらに深化させるため、「40分授業」および「3年生以上の教科担任制」を導入いたします。説明会で配布した資料の内容と、当日いただいた貴重なご質問への回答をまとめましたので、ご一読ください。



1. 新しい教育課程の柱

当日は配布資料に基づき、主に以下の3点を重点的に説明いたしました。

- ・「40分授業」の導入: 児童の集中力が高い午前中の時間を最大限に生かし学習の質を高めます。
- ・「教科担任制」の拡充（3年生以上）: 担任一人が抱え込まず、複数の教員がチームで一人ひとりを見守る体制を築きます。
- ・学びの質の進化: 生まれた時間（パワーアップタイム等）を活用し、「主体的・探究的・補足的」な学びを推進します。

2. 説明会での主な質疑応答

皆様からいただいた疑問に対し、学校の考えをお伝えしました。

ご質問	学校からの回答
三田市内では本校だけの取り組みですか？	40分授業は市内初の試みです。教科担任制は他校でも導入されていますが、全国的には東京都目黒区や兵庫県川西市などで多数の先行事例があり、成果を上げています。
図工や家庭科などの2時間連続授業は大丈夫？	総授業時間は変わらないため、学習内容は網羅できます。作業が次時に持ち越される可能性はありますが、密度を高めた授業構成で工夫してまいります。
アンケートの「わかった(94.1%)」は検証済み？	この数値は児童の実感に基づくものです。客観的な学力の検証は今後の課題ですが、まずは「できた・わかった」という自信を学習の土台にしたいと考えています。
余白の時間にタブレットばかりになりませんか？	最初から放任はしません。教員のガイドのもと、自分で必要なドリルや探究活動「選ぶ練習」から始め、主体的に学ぶ姿勢を育てます。
給食準備が「急ぎ足」にならない工夫は？	時間の徹底と動線の工夫を行います。教室以外の場所（体育館等）から直接給食室へ向かう等の対策を検討中ですが、衛生面のご懸念も踏まえ、慎重に対応します。
先生が異動しても、この取り組みは続きますか？	三田市より3年間の「研究校指定」を受けており、少なくとも3年間は継続します。その先も、本校の教育がより良くなると確信して取り組んでまいります。

3. 令和8年4月、いよいよスタートします

本校は、三田市教育委員会から研究指定を受け、教育改革の最先端で子どもたちの学びを進化させてまいります。

- ・開始時期: 2026年（令和8年）4月より
- ・下校時刻: 全学年 14時40分に統一（登校時刻は変更なし）

「夢に向かって共に歩む すずかけっ子」の育成を目指して

40分授業と教科担任制は、あくまで「土台」です。その先にある、行事や総合学習、児童会活動のすべてを「子ども主体」へと変えていく。そんな、子どもが自ら考え、選び、動く学校を、保護者の皆様と共に創っていただければ幸いです。